

International Pole Sports Federation

アンチドーピング規程 Anti-doping Rules



www.polesports.org

IPSF Anti-Doping Rules are based on WADA Model of Best Practice for International Federations and the World Anti-Doping Code.

IPSF のアンチドーピング規程は国際機関 WADA のドーピング検査基準やドーピング違反の罰則規則に基づいて定められている。

※また、この文書日本アンチ・ドーピング規定に基づいて IPSF の発行した英語版を日本語へ訳したものである。

Valid from 15.08.2016



国際ポールスポーツ連盟（以下 IPSF と略称）は 2015 年 2 月 25 日にイギリスのオクスフォードで開かれた委員会会議で**世界アンチ・ドーピング規程（World Anti-Doping Code）**の改定を行った。このアンチドーピング規程は IPSF の責任のもと、採択および実行されている。各国の連盟、選手、コーチ、競技大会主催者への教育を開始し、ポールスポーツがドラッグと無縁のスポーツとなることを目指している。

2013 年 8 月 1 日より、IPSF はアンチドーピングプログラムを、IPSF の認定を受けている各国および国際大会に出場するすべての選手に対して実施している。競技大会中の検査は、世界ポールスポーツ選手権 2014 (World Pole Sports Championships 2014) より実施されている。これは、あらゆるタイミングにおいて、検査が実施される可能性があることを意味し、競技大会期間中のみにも限定されない。

どのようにして検査は実施されますか？

ドーピング検査対象に選ばれたときの通知

- WPSC15 においては、IPSF がユースを除くすべてのカテゴリから、ランダムに選択する。
- 通知を行う担当者は、選手にたいして身分証明を提示する。
- 通知された選手も身分証明を提示する。

ドーピングコントロールステーションへの出頭

- 選手は、遅刻を事前に要求していない限り、検査のためにすぐにドーピングコントロールステーションへ向かわなければならない（遅刻については、追って詳細を説明）。
- 選手は、常に監視される。

検体回収容器

- 3 種類以上のキットから選択できるものとする。
- 障がいなどの事由なき限り、選手は検査キットを自身のみで扱うこととする。


監視下での検体提供

- 選手は、直接監視される。
- 検体は 90 mm l でなければならず、追加が必要な場合もある。

検体回収キットの選択

- 2 つ以上のキットから選択できなければならない。

検体の分別と封止



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK

Phone: +44 (0)7796906256

Email: info@polesports.org

President – KT Coates

Vice-President – Kate Whitley



- B ボトルを最初に、次に A、もしさらに追加サンプルがある場合はもう一度 B の順序で行う。
- 選手は検体を封止する。

検体の妥当性検査

- 検体の濃度が、分析に適しているかどうかの検査が行われる。

情報の記録と確認

- 選手は、ドーピングコントロールフォーム (DCF) へ記入し、署名することで、検体はその選手のものであることを確認する。選手には、コピーが渡される。
- 医薬品、サプリメントを含めて、直近 7 日間に摂取したあらゆるものを記録しておかなければならない。

選手は以下の権利を有する:

- ドーピングコントロール関係者の身分証明を確認すること。
- 代理人と同行すること。
- 同性のドーピングコントロールスタッフが担当すること。
- 検査手順に対してコメントすること。
- ドーピングコントロールフォームのコピーを受け取ること。
- ラボ(検査室)における機密保持。
- ドーピングコントロールステーションへの出頭を遅らせることを要求すること。

検査における選手の義務は?

- 選手と同行している人間が、常時直接監視すること。
- 求められた際に提示できる写真付の身分証明を用意すること(もしくは、コーチなどによって選手が誰かを確認することも可能)。
- 検査手順に従うこと。
- 遅刻が認められていない限り、検査へ速やかに向かうこと。

選手がドーピングコントロールステーションへの出頭を遅らせることができる理由は、以下のとおりである。全ての要求は、同行するスタッフの判断により、判断は同行スタッフが確実に選手を常時監視できるかどうかにかかっている。

- 表彰式への出席
- メディアへの対応
- さらなる競技への出場
- ウォームダウンの実施
- トレーニングの完了 *
- 必要な医療行為の実施 *
- 代理人もしくは通訳の手配 *
- 写真付身分証明の準備 *
- 正当かつ書類化が可能な例外的事由 *



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK
Phone: +44 (0)7796906256
Email: info@polesports.org

President – KT Coates
Vice-President – Kate Whitley



競技大会以外の場においては、* がついた理由のみが認められる。

選手がアンチ・ドーピング規程に違反していることが判明した場合、書面にて選手に通知される。

選手には、次に何をすべきか、選手の権利、回答期間などのアドバイスが与えられる。書面は、IPSF アンチ・ドーピング委員会により発酵され、選手は IPSF の競技大会への一定期間出場停止、最悪の場合、永久追放となる場合がある。

アンチ・ドーピングにおいて重要な側面は、選手は独立したヒアリングを設ける権利があり、IPSF アンチ・ドーピング委員会は IPSF とは関係のない第三者によって構成されるということである。

選手には、案件に対して告訴する権利があり、また代理人を立てて行うことも認められている。すべての証拠は、決断や必要な処罰の決定の前に、委員によって審議される。

選手には抗議する権利があり、定められた期間のうちに行うことが可能である。この場合、IPSF アンチ・ドーピング委員会と選手は、スポーツ仲裁裁判所にて争うこととなる。

処罰

お聞き及びのとおり、選手には一定期間の出場停止処分が課せられる。違反の深刻度と提示された証拠によって、数ヶ月から一生涯にわたることがある。

出場停止の具体的な意味は？

選手は以下を禁止される：

- IPSF のあらゆる競技大会への出場
- IPSF に関係する施設での練習（例：関係クラブ、資金援助を受けているジム、資金援助を受けている施設）
- 競技に関係するあらゆる金銭の授受

過去に授与されたメダル、タイトル、記録は全て無効となる。選手は、アンチ・ドーピング教育を受ける権利があり、競技から資金援助を受けている医療行為を受けることも可能である。ほとんど選手は競技に情熱を注ぎ、多くの時間を費やしてきている。競技を失うことは、選手にとって困難であり、これらは防がなければならない。選手には、競技への一定期間の出場停止のみにとどまらず、さらなる困難が待ち受けている。IPSF は、全ての選手の検査結果を介意する義務があり、また IPSF のウェブサイト上で公開している。

使用している医薬品における無効化に必要な期間はどうすれば分かりますか？

使用している医薬品が体内から完全に抜けるのに必要な時間を予測することは困難であり、また医薬品の種類や個人によって大きく異なる。よって、IPSF は尿や血液から医薬品が抜ける期間を予測することはできない。選手は、医師や薬剤師と、各医薬品の平均的な無効化期間や、体内での作用に影響を及ぼすことのある因子について話し合っておくことが必要である。これらの情報が得て、



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK

Phone: +44 (0)7796906256

Email: info@polesports.org

President – KT Coates

Vice-President – Kate Whitley



医師や薬剤師が推定した「無効化期間」が、選手が出場する競技に十分な時間であるかどうかを、選手自身が判断しなければならない。万が一、無効化期間が、競技までに十分が取れない可能性がある場合、医療目的の例外(TUE)を申請することを推奨する。

医療目的の例外(TUE)

医療目的の例外(TUE)とは、十分な医学的根拠に基づく規制物質の医療目的での使用を、特別に許可するものである。IPSFにおけるTUEの手順は、世界アンチ・ドーピング機構にて、ドーピングをしていない選手の権利を保護するために決められたTUE国際基準に基づいて進められる。

医薬品を使用している場合、選手は規制物質が含まれていないことを確認すべきである。医薬品が米国もしくは英国で認可されている場合、次のウェブサイトで照会することが役立つはずである。
<http://www.globaldro.com/uk-en/> 米国もしくは英国で認可されていないサプリメント、プロテイン、ハーブ類、医薬品については確認する方法がない。

健康上、重大な弊害をもたらさない限り、医薬品の摂取を辞めることを推奨する。必要な医薬品に規制物質が含まれている場合、IPSFへ相談し、対処方法のアドバイスを受けてください。競技大会が始まるまで放置すると、手遅れになることがある。

TUEの申請は、どのように行ったらいいか?


申請者の国内のアンチドーピング機構（日本アンチ・ドーピング機構 JADA

<http://www.playtruejapan.org/code/>）によりすでにTUEの認可を得ている場合を除いて、申請はIPSFへ直接しなければならない。申請フォームはIPSFのウェブサイト www.polesports.org にある。TUEの申請は最低でも大会出場の30日前までに行わなければならない。TUEの申請が必要な選手は、できるだけ早く申請を行うことを推奨する。

私はTUEの申請が必要でしょうか?

一般的にTUEは、**WADA 禁止表**にある、すべての規制物質が対象となるが、選手の競技ステータス等により必要有無が異なる場合がある。IPSFや各国の連盟では、すべての規制物質等について、TUEの申請を求めている。これらの申請ができていない場合、アンチ・ドーピング規程に違反することがある。

1. **Global DRO** で使用している医薬品のステータス、ルート、**WADA** における分類を調べてください。競技大会中のみ禁止になる物質と、常時禁止となる物質の見分けは非常に重要である。



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK

Phone: +44 (0)7796906256

Email: info@polesports.org



President – KT Coates

Vice-President – Kate Whitley

選手は、次の2種類のフォームを記入しなければならない: 1) 申請用紙 2) 規制物質の使用理由を説明するための医学的情報。選手は、これらのフォームをよく読み、要求事項を理解し、フォームを持って医師の診察を受けなければならない。医師は TUE の医学的要求事項を読むことで、関係する情報を提供することができるはずである。これらのフォームを記入した後、申請用紙の指示に従い、郵送または E メールで IPSF へ提出しなければならない。IPSF は受け取り次第、確認の連絡を入れる。提出から 3 日以内に連絡がない場合、受け取りが上手くいっていない可能性があるため、IPSF へ連絡をしてください。

TUE の許可を得る可能性を上げるにはどうすれば良いですか？

TUE の申請において最も重要な側面は、医学的情報である。TUE 委員会は、罹患履歴、検査結果、**疾病/障がい/故障**に対してどのような措置が施されてきたか、非規制物質での代替え試行、など TUE の申請に関係するすべての詳細情報を確認する必要がある。申請用紙にある要求事項をよく読み、医師にも同様の理解を求めることが必要である。できる限り完璧な医学的情報を揃えることが重要である。

TUE 委員会 (TUEC) とは何ですか？

TUE 委員会 (TUEC) とは、選手の TUE 申請を医学的側面から審査し、許可や却下のアドバイスを行う医師および医学の専門家のグループである。TUEC は、すべての医学的情報、WADA により定められているアンチ・ドーピング規程、今日の医学における最良のアドバイスを考慮する。各アンチ・ドーピング団体や国際連盟は、それぞれ TUEC を設置している。TUEC が、選手の個人情報を知ることはない。

TUE の許可を得るために医師はどのような役割を果たしますか？

医師は、TUE の許可に必要な医学的情報を提供する重要な役割を果たす。TUEC は、WADA によって定められている医学的自由に合致しているか否かの判断を、医師によって提供される情報を以て判断することとなる。

TUE 許可の権限は誰が持っていますか？

TUE 委員会が、TUE 許可の権限を持っている。TUE の許可を付与する機関は、検査機関におけるメンバーシップ、地域・国内・国際大会のどの競技に選手が出場するのか、また申請されている規制物質の種類によって決定される。

TUE の申請書が返送されてきたのはなぜですか？却下されたということですか？

TUEC の審査を受ける前に、申請書が返送されることが時々ある。返送理由としてよくあるのは、申請書が不完全である、TUE の申請が必要ない、のどちらかである。返送されたからといって、TUE



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK

Phone: +44 (0)7796906256

Email: info@polesports.org



President – KT Coates

Vice-President – Kate Whitley

の申請が却下されたわけではない。TUEC の審査の上で却下された場合、その旨が必ず通知される。申請書が不完全であるために返送された場合、情報を追加して再申請することを推奨する。

医師が、緊急事態用の薬を処方しました。どうすれば良いですか？

緊急事態として、規制物質が含まれる医薬品が処方された場合、緊急 TUE を申請すべきである。申請手順は同じである。関係する申請フォームを TUE のページからリクエストし、緊急事態用として提出する。申請書の上部に「EMERGENCY TUE」と記載して申請することで、素早い処理が可能である。緊急であるが故、必要な医学的情報の一部が即座に入手できない可能性があることは考慮される。しかし、選手はできる限り完璧な申請書を作るとともに、申請可能な時点でできる限り早く申請するよう努めるべきである。

喘息を抱えています。喘息の薬で TUE が必要なものは何ですか？

www.globaldro.comにて規制物質と非規制物質を確認することが可能である。

TUE の申請は却下されましたが、薬が必要です。どのような手段が考えられますか？

却下通知で述べられている理由が明確ではない場合、まずは IPSF へ正確な却下理由を問い合わせるべきである。必要な情報が不足しているもしくは見逃されている、または TUE を許可するに値する追加の情報や検査結果を提供することで解決する場合がある。再申請の可否をまずは検討すべきである。それでも希望が叶わぬ場合、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)に不服を訴えることが可能である。不服の申し立て手順は、WADA のホームページに掲載されている。


これから受ける予定の手術に対して、TUE は必要ですか？

手術の予定がある場合、選手は、手術中もしくは手術後に与えられるもしくは使用される医薬品に関して、www.globaldro.comで情報を検索する必要がある。一般的に、麻酔は複数の薬が用いられる。緊急時など、事前に投与される薬の情報がわからないことや、麻酔医がその時々において、最適と考えられる薬へ、事前に通知されているものから変更することもある。すべてのケースにおいて、施術記録のコピーを要求し、どの医薬品が用いられたのかを調べ、必要に応じて緊急 TUE を申請するべきである。

喘息用に、吸入 β -2 作動薬(The beta-2-agonist inhaler)を処方されました。吸入は規制対象で、噴霧だと規制されていないようです。噴霧で許可されている最大服用量はどのくらいですか？

喘息治療用の β -2 作動薬は、WADA によって服用量が規制されており、サルブタモール(24 時間で最大 1600 μ g)、吸入フォルモテロール(24 時間で最大 54 μ g)、吸入服用のサルメタロール(製造者の推奨投与計画による)も規制対象に含まれている。これらは、レバルブテロール(Xopenex®)やアルフォモテロール(Brovana®)のような異性体も含まれる。尿内に残留量での規制対象は、サルブタモールが 1000ng/mL、フォルモテロールが 40ng/mL である。

噴霧治療で用いられた場合、服用量は吸入時よりも多くなる。これは、噴霧器を使用する場合、すべての量が肺に到達せず、投入量の一部が吸入されるだけだからである。一度の服用ごとに摂取する量は、使用する噴霧器と、その噴霧器の各医薬品に対する噴霧方法による。



22 Trinity Road, Ware, Herts, SG12 7DB, UK

Phone: +44 (0)7796906256

Email: info@polesports.org

President – KT Coates

Vice-President – Kate Whitley



IPSF は、噴霧器の規制リストや投与する薬のパーセンテージのリストを管理しない。よって、選手は、噴霧器の製造者に使用する医薬品ごとに、一回の服用ごとの濃度を確認すべきである。WADA によって定められている以上の量を吸入する場合、噴霧器と吸入する物質の TUE 申請が必要である。

※日本アンチ・ドーピング機構による日本アンチ・ドーピング規程を必ず参照すること。

<http://www.playtruejapan.org/code/>

